

1. 國際廃炉研究開発拠点（放射性物質分析・研究施設）

- 廃炉研究の中核施設、1F近傍に設置
- 高濃度放射性物質（燃料デブリ等）の分析を行い、世界の研究者を集めた研究を実施

(予算措置)



2. ロボット開発・実証拠点

(1) モックアップ試験施設（屋内ロボット）(予算措置・着工)

- 廃炉作業等屋内を想定したロボットの試験施設。楢葉町に建設中（2014運用開始）
- 企業や大学の研究・開発のための共用施設を整備



(検討会)

(11/6設置)

(2) 福島ロボットテストフィールド（屋外ロボット）(検討会・11/6設置)

- 陸海空の災害対応ロボットについて官民の研究・実証施設
- 災害対応ロボットの技術開発支援(予算措置)
- 研究・実証を円滑に進めるため、電波法や航空法等の規制緩和特区とする。



(3) ロボット国際競技大会

5. インフラ整備

(1) 交通インフラ（一部予算措置）

- 常磐自動車道の全線復旧
- JR常磐線の早期復旧
- ふくしま復興再生道路等の整備



ふくしま復興再生道路

H32年度頃

(完了目標)

3. 国際产学連携拠点

(検討会・11/6設置)

- 全国の原子力関係の研究室が集結。
- 廃炉、汚染水対策、環境修復、農林水産、医学等、現地ならではの教育研究を推進。
- 産学連携体制を整備し、ベンチャー企業の創出促進
- 海外原子力技術者の研修も実施。
- 原子力災害の教訓・知見を継承、世界に発信するための情報発信拠点（アーカイブ拠点）



4. 新たな産業集積

(1) スマート・エコパーク (検討会・11/12設置)

- 被災地の膨大な廃棄物のリサイクルや希少金属を抽出する拠点を整備。地元雇用を創出。



(2) エネルギー関連産業の集積（一部予算措置）(県検討会議)

- 高効率石炭火力、LNG基地、洋上風力等に関連した産業の集積。
- 産総研を核とした研究開発、避難指示区域での再生可能エネルギーの大量導入

(3) 農林水産業プロジェクト (県検討会議)

- スマート農業、バイオマス、CLT、水産研究施設強化

(2) 産業・生活インフラ

- 産業用地や生産・物流施設、事務所等を浜通りに計画的に整備
- 双葉郡の中高一貫校（2015開校）

